



世界に挑んだ 優駿たち

— Vol.19 —

▼2010年ドバイ・シーマクラシック (G1)

▲2008年阪神ジュベナイルフィリーズ (JpnI)

牝馬の枠を超えて

ブエナビスタ

ウオッカやダイワスカレットより2世代下で、GIレース6勝をあげたブエナビスタもまた「牝馬の時代」を代表する名牝の1頭である。

父に日本ダービー、春秋の天皇賞、ジャパンカップなどを制したスペシャルウィーク、母に阪神3歳牝馬S (現・阪神ジュベナイルフィリーズ) 勝ち馬のビワハイジを持つ良血のブエナビスタは、デビュー前から大きな期待をかけられていた。そして彼女は見事にその期待に応える。牡馬の強豪がそろった新馬戦こそ追いつき届かず3着に敗れたが、続く未勝利戦を鋭い末脚で快勝する。抽選を潜り抜けて出走した次走の阪神ジュベナイルフィリーズでは、直線16番手から大外を怒濤の追込みで突き抜けて優勝。デビュー3戦目にして早くもビッグタイトルを手にした。

3歳となった2009年の春は完ぺきな成績を残す。始動戦のチューリップ賞を楽勝すると、続く桜花賞でも得意の大外一気を決めて難なく一冠目を制覇。オークスではレッドディザイアの粘りに手を焼いたが、ゴール寸前でそれをハナ差交わして優勝。牝馬クラシック二冠馬の栄誉に輝いた。

夏から秋にかけてはやや精彩を欠き、勝ち星から遠ざかったが、それでも有馬記念では勝ったドリームジャーニーから半馬身差の2着に入る健闘



を見せ、牡馬を相手にしてもまったく引けを取らない力を示した。

古馬になってからのブエナビスタの活躍は、まだファンの記憶に新しいことだろう。4歳の2010年にはヴィクトリアマイル、天皇賞(秋)を制し、宝塚記念、ジャパンカップ、有馬記念で2着(ジャパンカップは1位入線のもの以降)。5歳の2011年にはジャパンカップに優勝し、ヴィクトリアマイル、宝塚記念で2着となるなど、その鋭い末脚を武器に牝馬の枠を超えた活躍を続けた。

ブエナビスタは現役時代、2度のドバイ遠征を経験している。最初は2010年のドバイ・シーマクラシック。このレースでもいつもどおりに直線で激しく追い上げたが、英国のダーレミに3/4馬身及ばず2着に惜敗した。そして2度目は翌2011年のドバイ・ワールドC。ヴィクトワールピサ、トランセンドがワンツー・フィニッシュを遂げた日本競馬にとっての歴史的レースであったが、ブエナビスタは勝ったヴィクトワールピサから数馬身遅れの8着に敗退している。

2012年から繁殖生活に入った彼女は昨年、牝の初仔(父キングカメハメハ)を出産。母からあの鋭い切れ味を受け継いでいるのかと、早くもその将来に注目が集まっている。

全成績		中央21戦9勝 海外2戦0勝					
年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手	
2008.10.26	京都	メイクデビュー京都	1800	3	1:52.0	安藤 勝己	
11.15	京都	2歳未勝利	1600	1	1:34.9	安藤 勝己	
12.14	阪神	阪神ジュベナイルフィリーズ (JpnI)	1600	1	1:35.2	安藤 勝己	
2009.3.7	阪神	チューリップ賞 (JpnIII)	1600	1	1:36.5	安藤 勝己	
4.12	阪神	桜花賞 (JpnI)	1600	1	1:34.0	安藤 勝己	
5.24	東京	優駿牝馬 (JpnI)	2400	1	2:26.1	安藤 勝己	
8.23	札幌	札幌記念 (GII)	2000	2	2:00.7	安藤 勝己	
10.18	京都	秋華賞 (G1)	2000	3	2位降着	安藤 勝己	
11.15	京都	エリザベス女王杯 (G1)	2200	3	2:13.9	安藤 勝己	
12.27	中山	有馬記念 (G1)	2500	2	2:30.1	横山 典弘	
2010.2.20	京都	京都記念 (GII)	2200	1	2:14.4	横山 典弘	
3.27	ドバイ	ドバイ・シーマクラシック (G1)	2410	2	—	O. ペリエ	
5.16	東京	ヴィクトリアマイル (G1)	1600	1	1:32.4	横山 典弘	
6.27	阪神	宝塚記念 (G1)	2200	2	2:13.1	横山 典弘	
10.31	東京	天皇賞(秋) (G1)	2000	1	1:58.2	C.スミヨン	
11.28	東京	ジャパンカップ (G1)	2400	2	1位降着	C.スミヨン	
12.26	中山	有馬記念 (G1)	2500	2	2:32.6	C.スミヨン	
2011.3.26	ドバイ	ドバイ・ワールドC (G1)	全2000	8	—	R. ムーア	
5.15	東京	ヴィクトリアマイル (G1)	1600	2	1:31.9	岩田 康誠	
6.26	阪神	宝塚記念 (G1)	2200	2	2:10.3	岩田 康誠	
10.30	東京	天皇賞(秋) (G1)	2000	4	1:56.4	岩田 康誠	
11.27	東京	ジャパンカップ (G1)	2400	1	2:24.2	岩田 康誠	
12.25	中山	有馬記念 (G1)	2500	7	2:36.5	岩田 康誠	

※レース名は当時の表記による

ブエナビスタ 牝 黒鹿毛 2006年3月14日生
調教師: 松田博資 馬主: (有) サンデーレーシング

父 スペシャルウィーク 1995 黒鹿	サンデーサイレンス	Halo
		Wishing Well
	キャンペンガール	マルゼンスキー レディーシラオキ
母 ビワハイジ 1993 青鹿	Caerleon	Nijinsky Foreseer
	アグサン	Lord Gayle
		Santa Luciana